

すまい方の工夫

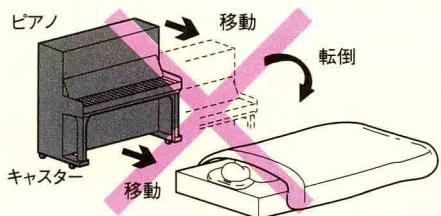
「家具の配置にも工夫が大切なね」

さて、家具の転倒を防ぐための固定は大切ですが、住宅の立地や構造など、さまざまな条件によって揺れ方が違うので、必ずしも万全とはいえない。そこで、安全という面から家具の置き場所を見直すことも、転倒などによる被害を防ぐための大きなポイントとなります。

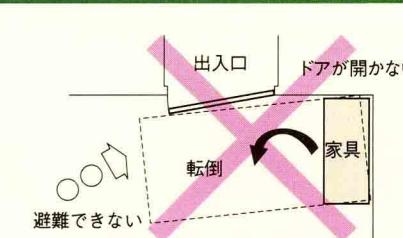
就寝位置や出入口と家具との関係は重要

たとえば家具の配置と、ふとんを敷いたりベットを置く、いわゆる就寝の位置との関係です。壁を背にした家具は前方に倒れていますから、就寝位置は家具の高さだけ離れるか、家具の脇に決めた方が安全です。また、家具が倒れて出入口を塞がれてしまつては大変です。家具は出入口付近に置かない、あるいは万が一倒れても通り抜けられる空間を残せる位置に置くようにしましょう。

ピアノにはキャスターが付いているため、確実な移動防止が行われている場合以外は、就寝の部屋には置かない方が良い

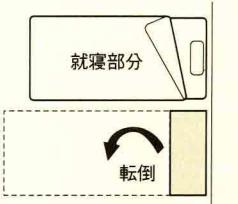


台の上に乗せたテレビやパソコンなどは飛び出す可能性があるので、就寝位置、特に枕の位置には注意

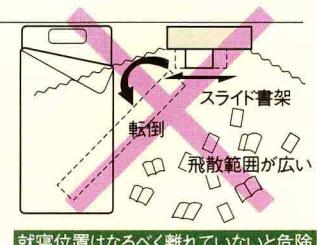


「家具転倒防止等の手引き」より

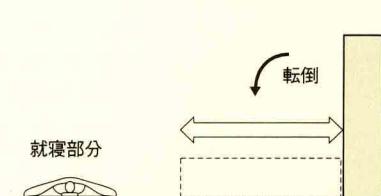
家具との関係で安全な就寝の位置は、家具の側方である。もしも家具の前方に就寝する場合は、家具の高さ以上に十分な距離をとる。また、スライド書架付きの本棚は安定が悪いため、就寝の位置からなるべく離した方が良い。



就寝位置は家具の側方がよい



就寝位置はなるべく離れてないと危険



就寝位置が正面の場合は家具の高さ以上に十分な距離をとる



ガラスの破片が散乱した場合でも通路を確保できるよう、台所などには座布団やスリッパなどを常備しておく